

# 総務省

2019  
4  
Vol.220

明るい未来へ、暮らしを育てる情報誌

4月号特集

## Society 5.0 時代の地方

地方の  
かがやき

### 佐賀県 基山町

この町に暮らす人々が言う。  
そこそこ都会、そこそこ田舎  
両方のいいところを満喫できる  
「トカイナカ」なこの町が好き！



MIC

Ministry of  
Internal Affairs and  
Communications

# 総務省

2019  
4  
Vol.220

発行：総務省

〒100-8926  
東京都千代田区霞が関2-1-2  
(中央合同庁舎第2号館)  
☎ 03-5253-5111 (代表)

＼ マチを好きになるアプリ /



広報誌をスマホ  
などで閲覧できます



**Contents**

04 **特集**  
**Society 5.0時代の地方**  
石田総務大臣×出口敦(東京大学大学院新領域創成科学研究科教授) 対談  
ほか

14 **地方のかがやき**  
**佐賀県 基山町**

18 **MIC NEWS 01**  
5月14日開講！  
「社会人のためのデータサイエンス演習」

19 **世界にはばたく総務省**  
「サイバーセキュリティ国際シンポジウム  
～情報共有・国際連携の  
さらなる促進に向けて～」の開催



## 教えて

総務省の情報を  
キャラクターがご紹介！

## 選挙のめいすいくん

「選挙のめいすいくん」は明るい選挙のイメージキャラクターとして、平成12年に誕生しました。投票箱をモチーフにしており、頭の2本線は投票用紙の差し込み口、お尻には鍵のしっぽがついています。



## まもなく統一地方選挙です

地方公共団体の選挙を統一して実施する「統一地方選挙」が今月行われます。第19回目となる今回は、選挙権年齢が18歳に引き下げられてから、初めての統一地方選挙です。

若い有権者の皆さんも、積極的に投票しましょう。

- 都道府県・指定都市：投票日4/7(日)
- 市区町村：投票日4/21(日)

## 季節のうつろいを味わう

にじゅうしせっき

# 二十四節気だより

二十四節気は太陽の運行を基準にした太陽暦です。

1年を24等分し、「立春」をスタート地点として、

15日ごとにその時期の自然現象を表す美しい名前が付けられています。

二十四節気から、「暑い」「寒い」だけではない、季節の移り変わりを感じてみませんか？



# 4月



# 穀雨

[ こくう ]

春雨が百穀を潤す様からその名が付いた「穀雨」。この時期から少しずつ雨が多くなり、雨で潤った田畑は種まきの好期を迎えます。農村部では、昔から「穀雨」を目安に田植えの準備をすると言われています。



温かい海域を好むサザエは、産卵前のこの時期、旬を迎えます。つぼ焼きにした際のほろ苦さは、まさに「春の海の味」です。

# 清明

[ せいめい ]

「清明」は、万物が清らかで生き生きとした様子を表す「清浄明潔」から付けられた名前。花が咲き、ちよつが舞い、空が青く澄み渡る様を示しています。この時期南東から吹いてくる穏やかな風は「清明風」と呼ばれています。

この時期は、ツバメやオオルリ、ホトトギスなどが南の国から渡ってきます。これらの鳥は夏を日本で過ごし、繁殖期が終わる秋に南の国に渡っていきます。



## Society 5.0時代の地方

Society 5.0が  
目指す社会

**石田大臣** いま、政府では、来たるべき次の時代の社会像として、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に次ぐ第5の社会「Society 5.0」という概念を提唱し、世界に先駆けた「超スマート社会」の実現に向けて取組を進めています。出口先生はSociety 5.0の研究、実践に取り組まれていますね。

**出口教授** ありがとうございます。現世界から大量のデータを集め、サイバー空間の中で最適解を導き出していくというプロセスは、個々の企業、個々のシステムでこれまでも行われてきました。これを個々の地域社会にまで広げ、

経済的發展と社会的課題の解決が両立した人間中心の社会へと向かわせる。これがSociety 5.0の目指す姿と考え、現在、産学協創による研究を進めています。

**石田大臣** データ、情報が鍵を握りますね。労働力や資本が変わって、データ、情報が集まる場所に産業が集積するかもしれない。社会が大きく変わっていきますね。

**出口教授** 本学の五神総長も提唱している、労働集約型社会や資本集約型社会に替わる知識集約型社会ですね。IoTなどで集めた大量のデータが現実を動かしていく社会、Society 5.0は、いわば「データ駆動型社会」ということだと思います。

## 2つの明るい兆し

**石田大臣** そうすると、Society 5.0の射程は都市部にとどまらず、地方にも大きなチャンスがありますね。

**出口教授** 本場に、地方を大きく変えていくと思います。さらに言えば、これからはサイバー空間の中でかなりの仕事ができるようになるでしょうから、働く環境を選べる時代、二拠点居住などが身近に実現できる時代になってきました。これは地方にとって、とても大きな変化ではないでしょうか。

**石田大臣** 和歌山県白浜町のサテライトオフィスを視察した際、実際に働かれている方にお話を伺うと、とにかく通勤ストレスが無くなったと。心にゆ

とりが生まれ、社員同士の会話も増え、チームのマネジメントもとてもスムーズになったそうです。さらには生活が朝型になって、夕方から夜にかけて家族と過ごす時間や趣味に使う時間が増えて、中には結婚したり、子どもが生まれたりした社員さんもいたそうです。

**出口教授** 1日を2ラウンド楽しめるような感じですね。私は、人間の豊かさを測る重要な指標の一つは時間であり、特に「可処分時間」に注目しています。都会だと、そうした家族と過ごす時間は限られているように思います。

総務大臣  
いしだまさとし  
**石田 真敏**

東京大学大学院  
新領域創成科学研究科教授  
でぐちあつし  
**出口 敦**



なんとか生活環境を変えたいという思いで「ここに来た」と話していました。移住支援をしている東京のNPO法人に寄せられる移住相談も毎年右肩上がりで見えますが、年代別に見ると、20代・30代で50%を超え、40代まで入れると70%を超えているそうです。Society 5.0の到来が地方にとっての1つの明るい兆しだとすると、もう1つは、こうした働き盛りの若者たちの「生活環境を変えたい」という意識の変化ではないでしょうか。こうした兆しを、チャンスに変えていかなければいけないと思います。

**出口教授** おっしゃるとおりですね。アプリ開発などに携わるシステムエンジニアは一般に街なかで営業をする必要はありませんから、必ずしも都心に通勤する必要はありませんね。温泉があったり、サーフィンができたり、生活環境のよい場所を選んで仕事ができます。余暇の時間が増えれば、今度はその時間にお金を使って楽しく過ごすことで、そこに新しい経済

や産業が生まれます。地方にとつても好循環です。

公・民・学連携による  
地域づくり

**出口教授** 一方で、地域によって目指す姿も違えば、地域づくりの担い手となるプレーヤーも多種多様です。個々の利害を超えて関係者で共有できるビジョンを創り、実際の地域づくりに取り組んでいくことがとても重要になります。その点では、地域に関わる公・民・学の様々な組織や個人がそれぞれ資金や人材、施設を出し合って進める公・民・学連携のまちづくり組織「アーバンデザインセンター(UDC)」が注目されています。長野県をはじめ、全国各地で設立に向けた動きが活発になっています。こうした新しい動きを素早くキャッチして実践していくうえで、やはり首長の理解は欠かせません。

**石田大臣** 首長のリーダーシップは不可欠です。これから社会が大きく変わっていくということ、地方にとつても大きな



「Society 5.0時代の地方」はどのような社会なのか、その社会の実現に向けた公・民・学の取組はどうあるべきか。様々な事例も交えながら、地域社会の未来に向けた情熱的な話が繰り広げられました。

※総務大臣メール～Society 5.0時代の地方～  
[http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/singi/chiiki\\_honbu/index.html](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/singi/chiiki_honbu/index.html)

# 「革新的技術を活用して、暮らし続けられる地域づくりを」出口教授

# 「Society 5.0時代は、地方にとっての大きなチャンス」石田大臣



**石田大臣** 安心できる介護、これは本当に大事です。総務大臣メールでも、センサーを活用して介護の負担を軽減させている事例を取り上げました。教育分野でも、クラウドを活用して、いつでもどこでも最先端の教育を受けることができます。取組が進んでいます。どい

**出口教授** 年齢を重ねていくと、やはり自分が住み慣れた住まいに住み続けたいと思う方は多いと思います。そんな時、地域の共助に加え、自宅で介護ロボットが手伝ってくれば、住み慣れた自宅に住み続けたいという高齢者の方々の思いにも応えることができます。Society 5.0が目指す、まさに「人間中心の社会」ですね。

**出口教授** Society 5.0は、現実世界から集めるデータの種類と量は膨大です。あらゆるモノのデータ、情報が産業のシースになりますから、人口集積地だけでなく、過疎地・中山間地でも、産業が生まれる可能性があります。大量のデータ、情報を、高速で、低遅延で送るインフラの整備は、地

**石田大臣** 地域による医療格差を解消する遠隔医療の取組も進んでいます。そのため、低遅延で、高精度診断ができる技術インフラが必要不可欠です。5Gの地方での整備はとても重要になると考えています。

**出口教授** 自分が一番ストレスを感じないところに住んで、効率よく仕事ができ、気持ちよく勉強ができる。自分が暮らし、働く環境を「選べる」時代になってきましたね。

住むかによって生活支援サービスに差が出ない、そんな社会になってきました。



総務大臣 石田 真敏 × 東京大学大学院 新領域創成科学研究科教授 出口 敦

**出口教授** 5Gの特徴を活かした多様なサービスが、地

**石田大臣** 5Gの電波の割り当てにあたってその点はとも重視していましたが、基地局の展開に必要な光ファイバの整備についても、今年度は条件不利地域を対象に補助予算も計上しています。全国各地で、5Gを利用できる環境整備を進めていきたいと思っています。

**石田大臣** 共に頑張っ参りましょう。本日は、どうもありがとうございました。

域住民の生活を快適にしてくれる。そんな地域社会が全国各地で今まさに生まれようとしている。本当にワクワクします。私も「学」の立場から、「公」「民」の皆さまと連携して、Society 5.0の考え方を取り入れた新たな都市や地域のモデルを創り出す研究や実践に取り組んでいきたいと思っています。

域の未来を大きく左右していくことになると思います。

**石田大臣** そういう人材は本

**出口教授** Society 5.0時代の担い手の確保という意味では、地方の大学の役割も重要だと思います。ビッグデータ解析の専門家のニーズは高まっていくでしょうし、様々な革新的技術に精通した技術者も必要です。さらに、地域の将来ニーズに合った人材を育てることも、地方の大学に課せられた大きな役割です。「学」に属する者も頑張っ参ります。

**石田大臣** いわゆるスマート農業ですね。総務大臣メール第2号でも農林水産省のご協力を

**出口教授** 革新的技術を活用して地方に多い産業を革新することも期待できます。例えば、農地の様々な情報や気象予測の技術を駆使し、さらにドローンやロボットの技術を活用することで、作業効率を大きく高めることが期待できます。いわば、農学と工学の融合です。

**石田大臣** 世界を相手にしていく、という意味ではインバウンド観光客の需要も地方にとって大きなチャンスです。NICT(国立研究開発法人情報通信研究機構)が開

**出口教授** 人口数百人の地域が世界と直につながり、世界中の何十億もの人たちを相手に商売ができるようになった、これは本当に大きな変化ですね。

**石田大臣** さらに、地方のどこにいても世界とつながることができるようになっている。私のお見逃せません。私の地元でも、漆器屋さんがプラットフォーム上で世界中から注文を受けています。

**石田大臣** Society 5.0には地方の産業の在り方を変えていく力がある、本音がいて、働く場があっても、医療、介護、教育なども確保しなければ、地域社会を維持できません。日本のどこにいてもこうした生活支援サービスを利用できる社会が、技術革新によって実現しようとしています。

自らの手でマネジメントしていかなければならないものと考えています。



得て、様々な先行事例を網羅的にご紹介しました。

**出口教授** 担い手不足に悩んでいる農業関係者も多いと聞きますが、こうした技術を活用することで、農業を地域の雇用を支える基幹産業としていくことも期待できますね。

発した多言語音声翻訳技術は、実はレベルが非常に高く、日英中韓はすでにTOEIC換算800点レベル、その他の8言語も今年度中に同レベルになる予定です。価格帯も手頃ですし、うまく活用していただきたいですね。

# 「Society 5.0を支える基盤!」(5G) 可能性ある5Gの全国展開へ!



5Gは、「Society 5.0時代の地方」を実現するうえで不可欠なインフラであることから、できるだけ早期に地方でその整備と具体的な活用事例を創出していくことが重要です。

そこで、総務省では、日本における最初の5G用周波数の割り当て指針において、①全国および各地域ブロック別に、5年以内に50%以上のメッシュで5G高度特定基地局を整備すること、②周波数の割り当て後、2年以内に全都道府県でサービスを開始すること、③全国でできるだけ多くの特定基地局を開設することなどを割り当て時の評価指標として盛り込みました。まさにこの4月、日本における最初の5G用周波数の割り当てが行われ、その後順次、5Gを利用したサービスの提供が始まります。

また、総務省では、2017年度から、「5G総合実証試験」を実施しており、建設機械遠隔操作や遠隔医療、テレワークなどの実際の5G活用分野を想定した性能評価を実施しています。また、本年1月には、「5G活用アイデアコンテスト」

## 5G総合実証試験のこれまでの取組と今後の方向性

ICTインフラ 8つの課題	実証テーマ(2017)	実証テーマ(2018)	実証テーマ(2019)	2020
労働力	・建機遠隔操作 ・テレワーク	・建機遠隔操作 ・テレワーク ・スマート工場【新規】	<b>5Gの地方への展開</b> 地方発の案件発掘 地方発の案件発掘 地方発の案件発掘 地方発の案件発掘 地方発の案件発掘 地方発の案件発掘 地方発の案件発掘 地方発の案件発掘	<b>5Gの地方への展開</b> 地方発の案件発掘 地方発の案件発掘 地方発の案件発掘 地方発の案件発掘 地方発の案件発掘 地方発の案件発掘 地方発の案件発掘
地場産業	-	・スマート農業		
観光	・高精細コンテンツ 配信	・インバウンド対策【新規】 ・8Kパノラマパブリック ビューイング		
教育	-	・スマートスクール【新規】		
モビリティ	・隊列走行	・隊列走行 ・除雪車走行支援【新規】		
医療・介護	・遠隔医療	・遠隔医療		
防災・減災	・防災倉庫	・スマートハイウェイ【新規】 ・ドローン空撮【新規】		
マイナンバー カード	-	・行政サービス【新規】		

「ト」を開催し、地方発の発想による実証テーマを募集したところ、産学官による地域課題の解決に向けた提案が785件寄せられました。今年度は、これらの成果も踏まえつつ、「5Gによる地方の抱える様々な課題の総合的な解決」に力点を置いた実証を実施していく予定です。

### 建設現場での活用

安全・確実・スピーディな災害復旧など：  
人型ロボットによる遠隔作業



ロボットを用いたリアルタイムの精緻な作業が可能  
安全な場所からロボットを操作して危険な場所(事故現場など)でも正確に作業

人手不足解消：建設機械の遠隔操作



#### 正面モニタ(8K)

東京港区から千葉市美浜区の建機を低遅延で遠隔操作  
⇒トラクタなどの農耕機などへの応用が可能

### 医療での活用

医療格差の解消：低遅延の高精細診断映像による遠隔診療



4K/8K映像で、生育状況だけでなく、胎児の表情まで見える遠隔妊婦検診を実現



4K/8K映像を用いて患部状況などをシェアすることで、遠隔地の専門医が地方の手術を支援(写真は脳手術)



# Society 5.0時代の 地方

狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に次ぐ第5の社会「Society 5.0」。

Society 5.0を支える様々な革新的技術には、これからの地方を大きく変えていくことが期待されています。また、生活環境を変えたいと地方への移住を考える若者も増えており、こうした変化を地方にとってのチャンスとしていくことが求められています。

この「Society 5.0」では、「総務大臣メール」のSociety 5.0時代の地方として紹介されたテーマの中から、Society 5.0を支える情報インフラ「5G」(第5世代移動通信システム)、いつもの仕事をどこでも行える「サテライトオフィス」、地域おこし協力隊として地方移住した方の起業を後押しする「クラウドファンディング」による起業支援を取り上げ、「Society 5.0時代の地方」の実現に向けた総務省の取組をご紹介します。





# 「Society 5.0時代の働き方!」(サテライトオフィス) 自分の望む地域で働く!

## サテライトオフィスとは

サテライトオフィスとは、企業や団体の本社から離れたところに設置されたオフィスのことです。本社を中心として見たとき衛星(サテライト)のように存在するという意味です。

## テレワーク普及展開推進事業

総務省では、ICTを利用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方である「テレワーク」の普及展開を、地方の中小企業も含め全国規模で強力に推進することにより、働き方改革を加速させることとしています。今年度は、次の普及展開施策に取り組み、全国的なテレワークのすそ野拡大を目指しています。

## ①「テレワーク・デイズ」の実施

関係府省、東京都、関係団体などと連携し、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会開催時の交通混雑緩和と、テレワークという働き方の全国的な定着を目的とし、大会開催期間を想定した期間中に企業などにテレワークの一斉実施を呼びかける「テレワーク・

デイズ」の取組を国民運動的に実施します。

## ②セミナーなどによる普及展開策の推進

テレワークを巡る最新動向や実施時の留意点、導入企業の事例などを紹介するセミナーを全国で開催し、企業などがテレワークを導入する機運を醸成します。その他、専門家の派遣、先進事例の収集および表彰などを通じた普及啓発を実施します。

テレワークは、企業にとっては生産性向上、優秀な人材の確保などのメリットがあります。就業者にとっては、ワークライフバランスを確保しながら、自分の望む場所での就業が可能になります。

## 地域課題解決に資するテレワーク環境のためのサテライトオフィス整備

総務省は、いつもの仕事をどこにいても行うことを可能とすることで、地方でも都市部と同じように働ける環境を実現し、人や仕事の地方への流れを促進する「ふるさとテレワーク」を推進してきました。

## サテライトオフィス・マッチング支援事業

近年、雇用機会の創出や移住・定住の促進、地元企業とのイノベーションの創出などに向けて、都市部の企業などのサテライトオフィスの誘致に取り組み地方自治体が増えています。

こうした地方自治体においては、サテライトオフィスに関する企業の情報提供や、サテライトオフィス誘致の取組に係る情報発信に対する支援を求める声が多いことから、総務省では、セミナーの開催を通じて、サテライトオフィスの開設に前向き、または、関心がある企業と、サテライトオフィスの誘致に取り組み地方自治体とのマッチングを支援しています。

セミナーでは、サテライトオフィス導入・誘致事例などの紹介、各地方自治体のプレゼンテーションの後、参加企業と地方自治体との交流の時間を設けました。このセミナーは、昨年度は4回開催し、今年度も引き続き開催する予定です。

ふるさとテレワークポータルサイト  
▶<https://www.furusato-telework.jp/>



お試しサテライトオフィス特設サイト  
▶<http://www.soumu.go.jp/satellite-office/>

また、サテライトオフィスに関心はあるものの、いきなり地方にサテライトオフィスを開設するのはハードルが高いと感じる企業を対象として、実際に現地で「お試し勤務」をする「お試しサテライトオフィス」に取り組み地方自治体もあります。総務省特設サイトでは、「お試し勤務」を受け入れる地方自治体の紹介やお試し勤務施設の概要、近隣施設などを掲載していますので、ぜひご覧ください。

## 和歌山県白浜町の事例(白浜町ITビジネスオフィス)

- 使われなくなった保養所を和歌山県と白浜町で改修(平成16年)し、企業向けに賃貸。総務省「ふるさとテレワーク事業」(平成27年度・28年度)で通信環境の整ったオフィスに改修し、企業が進出(サテライトオフィス)。
- 豊かな自然やゆとりある生活に魅力を感じ、7社の企業が進出。
- ローテーションで3か月白浜に勤務する制度を一部採用。白浜に移住する者も。
- 白浜町をきっかけに和歌山県で、テレワークなどで働きつつ休暇を取得するワーケーション(ワーク+バケーション)を推進。
- 進出企業も増え、昨年6月に町が第2ITビジネスオフィスをオープンし、全4室が数か月で満室に。



別拠点とテレビ会議を行う社員

### 【働く人の主な意見】

#### (業務)

- 本社や顧客から離れた場所でも、仕事が支障なくできる。特に内勤やバックオフィス(人事・経理など)で有効。
- 仕事を変えずに地方に移住できる。少人数で集中でき、効率的な業務実施。

#### (社員のメリット)

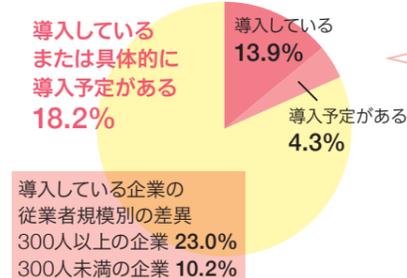
- 通勤ストレスがないことが最大の良さ。東京で往復150分かかっていた通勤時間がほぼゼロに。
- 趣味(温泉巡り、ゴルフなど)や家族との時間が充実。



勤務する皆さんと意見交換する石田総務大臣

## テレワークを導入している企業の割合

(従業員数100人以上の企業)

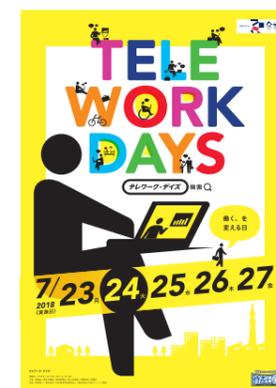


導入している企業の従業員規模別の差異  
300人以上の企業 23.0%  
300人未満の企業 10.2%

出典:総務省「平成29年通信利用動向調査」  
(H30.5.25公表)

企業・就業者にとって多くのメリットがあるテレワークですが、テレワークの導入企業率は13.9%にとどまっています。政府のKPI(重要業績評価指標)である「2020年に34.5%」に向け、テレワークの普及展開を強力に推進していきます。

昨年(2018年)は7月23日～27日の5日間で1,682団体・30万人以上が参加しました。今年は規模を拡大し、7月22日から9月6日までの約1か月間を「テレワーク・デイズ2019」としてテレワークの一斉実施を呼びかけます。



昨年のポスター

具体的にはサテライトオフィス整備への実証・補助を2015～2018年度に実施し、計55か所の拠点を整備してきました。今年度はサテライトオフィス整備への補助を、「地域IoT実装推進事業」の中で実施予定です。今後も、地域雇用の確保につながり、様々な地域資源と組み合わせ、都市部から企業やヒトを誘致することで、さらなる地域活性化の流れを生み出すテレワークの普及を引き続き推進していきます。

### お問い合わせ先

(テレワーク普及展開・環境整備)  
総務省 情報流通行政局 情報流通振興課  
情報流通高度化推進室  
Tel. 03-5253-5751

(サテライトオフィス・マッチング支援)  
総務省 地域力創造グループ 地域自立応援課  
Tel. 03-5253-5392



# 地域おこし協力隊員の起業をクラウドファンディングで応援

## クラウドファンディング官民連携事業

総務省では、任期終了後に起業を望む多くの隊員をサポートするため、「ふるさと納税」を活用して全国の皆さまに応援していただく仕組みを民間企業などの協力により構築しました。

### 岡山県真庭市 国際・シェアハウス 開業資金調達プロジェクト

事例  
1



当たり前の日本の田舎を、世界に誇れる「MANIWA」にするという思いから、真庭市で国際・シェアハウスを開業するため、クラウドファンディングを実施

- ・目標金額: 3,300,000円(最終金額: 4,428,000円 達成率約134.2%)
- ・プロジェクト期間: 平成28年4月11日~6月9日(60日)
- ・支援人数: 199名

### 愛媛県西予市 古民家・古店舗「喫茶 春名」 再生資金調達プロジェクト

事例  
2



伝統的な建物の保存地区にある「喫茶 春名」をCafé&Barとして復活させ、人と人をつなげることができる場所をつくりたいとの思いから、クラウドファンディングを実施

- ・目標金額: 3,000,000円(最終金額: 3,607,001円 達成率約120.2%)
- ・プロジェクト期間: 平成28年4月11日~7月31日(112日)
- ・支援人数: 253名

地域おこし協力隊についてはこちらをご覧ください

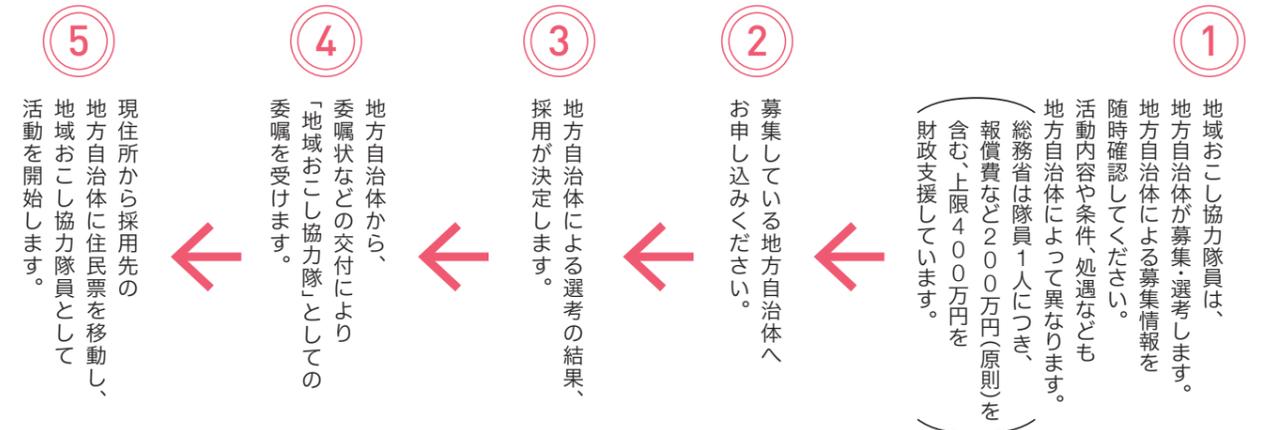
地域おこし協力隊Facebookページ  
<https://www.facebook.com/chiikiokoshikyoutai/>  
 地域おこし協力隊クラウドファンディング  
[https://www.iju-join.jp/chiikiokoshi/projects\\_about.html](https://www.iju-join.jp/chiikiokoshi/projects_about.html)



「地域おこし協力隊」とは、おむね1年以上3年以下の期間、地方自治体から委嘱を受け、地域で生活し、様々な地域協力活動を行っていただく取組です。活動内容は、地域行事やイベントの応援、伝統芸能や祭りの復活、地域ブランドや地場産品の開発・PR、商店街活性化、農作業支援など、地方自治体によって様々です。

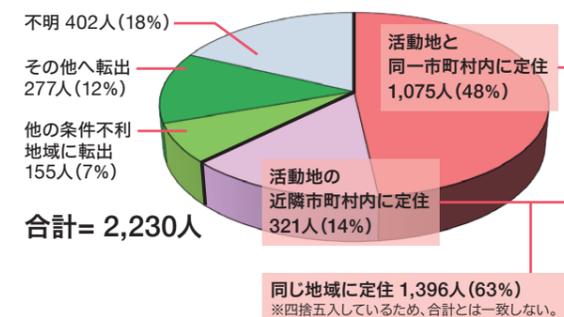
昨年度は全国1061団体で5513人(見込み)の隊員が活躍しました。また、約6割の隊員が任期終了後も同じ地域に定住し、同一市町村内に定住した隊員の約3割は起業しています。

## 地域おこし協力隊員になるまでの流れ

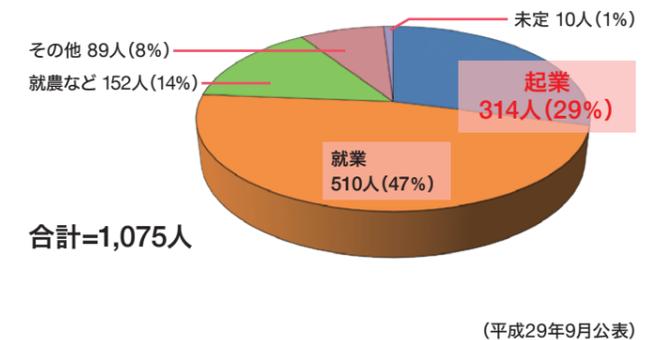


## 地域おこし協力隊の定住状況などに係る調査結果概要

任期終了後、約6割の隊員が同じ地域に定住



同一市町村内に定住した者(1,075人)の約3割は起業



きざん  
基山草スキー場

基山(きざん)の山頂では、草スキーを楽しむことができる。春(3月~5月)と秋(9月~11月)の土・日・祝日は、ソリをレンタルできる。



基山町立図書館

天井が高く、木をふんだんに使った館内は、飲食可能なラウンジや雑誌をゆっくり読めるコーナーもあり、居心地が良い。

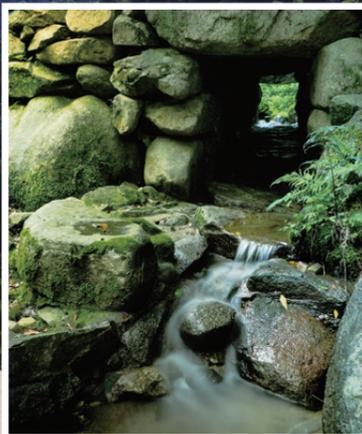


大興善寺のツツジ

別名「つつし寺」とも呼ばれる大興善寺の敷地内には、毎年5月頃、約5万本ものツツジが、一斉に咲く。新緑の鮮やかな緑とのコントラストは必見!

きざん  
「基山」からの眺め

町の象徴である基山。山頂には、日本最古の要塞「基肆城(きいじょう)」跡がある。この城は、663年の白村江(はくすきのえ)の戦いで、日本が唐・新羅連合軍に大敗した後、大宰府防衛のために築かれたもの。基山山頂からの眺めは絶景。



◀筒川の水を通す、基肆城の「水門跡」。この辺りに城の南門があったと伝えられる。

この町に暮らす人々が言う。  
そこそこ都会、そこそこ田舎  
両方のいいところを満喫できる  
「トカイナカ」なこの町が好き!



基山の銘酒

明治初期の創業以来、基山から湧き出る伏流水と地元で作られている「基峰鶴酒造」の酒は、地元の人たちに愛されている。



やぶれまんじゅう

薄い皮から中のあるがとこころ見える「やぶれまんじゅう」は基山名物。小豆あん和白インゲンあんの2種類がある。

Profile

佐賀県三養基郡(みやきぐん)に属する町。明治22年に小倉村、園部村、長野村、宮浦村の合併により基山村が発足し、昭和14年の町制施行により基山町となる。今年が町制80周年を迎える。

人口	17,405人(平成31年2月末日現在)
面積	22.15km <sup>2</sup>
URL	<a href="https://www.town.kiyama.lg.jp/">https://www.town.kiyama.lg.jp/</a>



佐賀県

kiyama-cho  
基山町

地方の  
かがやき

キャッチフレーズは「アイが大きい町」。  
そのとおり!と誰もが納得することを  
3つご紹介いたします!

基山町の魅力

ダイジェスト!

遊 落書きしたい人!  
駅近くの商店街に集合



「基山モール商店街」のメインストリートは、子どもたちの落書きスペース。シャッター通りとなりつつあったこの商店街に、町が保育園を誘致したことで、毎日子どもたちの笑い声が絶えない場所に。商店街も活性化!

食 絶対人気の郷土料理  
「鶏のレモン煮」



基山町で暮らす人に「ソウルフードは何?」と尋ねると、誰もが口をそろえる料理がこれ。町の居酒屋や学校給食、お弁当のおかずやイベント会場でも絶対不動の人気メニュー。地元愛の象徴のような食べもの!

祭 町民が力を合わせて  
伝統行事を盛り上げる



基山町には、荒穂神社の「御神幸祭(みゆきまつり)」や、宝満神社の「園部くんち」など、古くから伝わる神事や伝統行事が多く、後世へと受け継がれている。冬恒例の「ふ・れ・あ・いフェスタ」も大盛り上がり!

取組の質の向上を目指し  
さらなるチャレンジへ

基山町は今年で町制80周年を迎えます。これまでの歴史の中で、様々な社会課題に向き合い、近年は特に子育て世代、高齢者世代、移住定住者などに向けた支援策や産物のブランド化などを進めて参りました。それらが今ようやく功を奏し、それぞれに結果が見えてきたところです。

これからは、それらの取組の「質」の向上を目指し、さらなるチャレンジを重ね、誰もが暮らしやすいまちづくりに努めて参ります。



基山町長  
松田 一也

佐賀県東端部に位置し、福岡県と隣接する基山町。九州自動車道や国道3号線、JR鹿児島本線や甘木鉄道が整備され、佐賀県や長崎県を訪れる人の多くが行き交う「佐賀県の東の玄関口」です。  
福岡空港や博多駅、久留米駅からも30分以内という地の利から、基山町で暮らし、福岡に通勤・通学する人も多く、近隣都市のベッドタウンとしても機能しています。  
それほど便利な町でありながら、町の北部には基山(きざん)を主峰とする筑紫の山々が連なり、基山の頂では、国の特別史跡である1350年前の山城「基肆城(きいじょう)」跡を見ることが出来ます。



きやまん きやまる  
町のイメージキャラクター

また、春はツツジ、秋は紅葉の名所として知られる、奈良時代に創建された天台宗別格本山「大興善寺(だいこうぜんじ)」など、山寺を散策しながら四季の移り変わりを楽しめるスポットもあります。  
そこそこ都会、そこそこ田舎! そんな「トカイナカ」なところが基山町の魅力です。



地方の  
かがやき

エミューは体長約1.8メートル、体重約50キロの、世界で2番目に大きな鳥。肉だけではなく、脂や卵、羽など、すべてが資源となる。



▲平成26年に、地元企業の協力を得て4羽から飼育開始。現在は約400羽が飼育されている。

エミュー、真サカキ、キクイモを原料にした基山ブランドの商品は多数。現在も続々開発中。



エミューの放牧により肥えた土地でキクイモを栽培。現在、キクイモチップスやサブリなどが商品化されている。



「里山サカキプロジェクト」で栽培する基山町産の真サカキは高品質。プロジェクトを担う城戸生産森林組合は、平成28年度全国林業経営推奨行事として林野庁長官賞を受賞。



婚活イベントやセミナーも盛ん。写真は、町内の2つの寺を巡り、参加者同士が交流する「寺婚」。



基山町お試し住宅。この物件は、長年使用されていなかった旧消防団格納庫を九州産業大学の学生にアイデアを募り、地元業者の技術により改築された。

# わがまち じまん

大会には毎年  
2000人以上が  
参加!



## スロージョギング®

スロージョギング®とは、ランニングとウォーキングの中間くらいのスピードを保つ、ゆっくりとしたジョギング。「隣の人と話ができるくらい」のスピードを目安にした、健康効果の高い有酸素運動です。



スポーツ交流が盛んな基山町では、住民の健康づくりのため、平成27年から「きやまスロージョギング®教室」をスタート! 子どもからお年寄りまで、様々な世代が参加し、健康づくりに取り組んでいます。

毎年12月には、日本スロージョギング協会から公認を得て、「スロージョギング®大会」も行われており、海外から申し込みがあるほど人気ののだとか。「便利な基山」「エミューの基山」にプラスして、「スロージョギング®の基山」としても町の知名度が高まっています。

スポーツ  
合宿も  
可能!



基山町総合グラウンドに隣接した「基山町合宿所」。営利目的でない限り、誰でも安価で利用できる。

## 地方の力 02

### 移住者増! 多彩な支援策とユニークな 婚活イベントも貢献

ここ数年、基山町では、結婚を機に移住してくる人が増えています。これは、移住支援策や子育て支援策の充実はもちろん、その手前での多彩な取組が功を奏した形です。

SNSを活用したプロモーションやキャンペーンを通して町の魅力を拡散するとともに、ユニークな婚活イベントや、セミナーの開催など、町は結婚を考える人たちに訴求力の高い企画を数多く打ち出しています。

2棟あるお試し住宅の昨年度の利用は56人。これまでの町の婚活イベントを契機に成婚したカップルは2組。平成28年度から30年度の移住者を合計すると114人に上ります。



充実した子育てができる場所を求めて、この町に赴任しました。

地域おこし協力隊 任期1年目の柴田さん。

### 「一人たりとも孤独にさせない」 町の思いが形になった交流施設と住民の活動

基山町は昨年4月、様々な世代の孤立化を防ぐため、「多世代交流センター憩の家」を設置しました。この施設には、子どもを遊ばせるキッズルームや、カラオケ、料理など趣味を楽しめる設備が整えられ、様々な世代が集い、多世代間交流が活発に行われています。

また、平成27年から住民主導で運営されている「基山SGKプロジェクト」の活動も盛んです。基山弁で「すごか(すごい)」の頭文字をとったSGKは、健康づくりや企業支援、カフェ運営など5つの事業部があり、約100名の会員が生きがいをもって取り組んでいます。



「憩の家」のキッズルームの利用料は無料。趣味の教室などに使う和室は1時間90円。利用しやすい料金設定となっている。

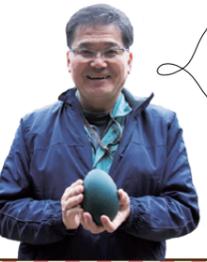


空き事務所をリノベーションした「SGK交流プラザ」では、カフェのほか、編み物教室なども開催。

## 地方の力 01

### “小さくてもキラリと光る町”を目指して 基山ブランドの商品化に注力

エミューが飼育されている場所は、農家の高齢化や後継者不足に伴い、年々増加している耕作放棄地。そこにエミューを放すことで、被害が少なくなるばかりか、エミューが草をついばみ、フンをすることで土地も肥えます。土地が肥沃になったら、エミューを他の耕作放棄地へ移した後、キクイモを栽培。同町では、キクイモを原料とした食品なども開発中です。



エミューの卵の大きさは、鶏卵の約10倍!

エミューを飼育するきやまファームの柳瀬さん。

「便利で住みやすい」という町のイメージにプラスアルファの特徴づけをするべく、基山町では町のブランド化を推進しています。その大きな柱となっているのが、「ダブルジビエ活用プロジェクト」です。

この事業は、町内で放牧されている大型鳥のエミューと、農作物被害対策として捕獲したイノシシを食肉処理し、町の飲食店などで名物料理として提供するというもの。エミューにおいては、ハムやレトルトカレーなどの加工食品、脂を使った化粧品、羽を使った土産品など、様々な商品展開も進めています。

名物はエミュー料理!?

インパクトのあるまちづくり

さらに、ブランド化の「環」として、荒れた森林を活用した「里山サカキプロジェクト」も並走。ヒノキの林床を活用して栽培した真サカキは、色つやが良く好評です。

基山町は、町の資源を余すことなく使い、キラリと光るまちづくりを目指しています。

### 双方向型地域情報サービス 「基山WEBの駅」で町を活性化!

基山町では、昨年、双方向型地域情報サービス「基山WEBの駅」を開設しました。これは、インターネット上で、祭りやイベント、グルメ、セミナーなどの地域情報や行政情報を発信・共有できるサイトです。会員登録をすれば、このサイト内に無料でホームページを作成することができ、情報を得るだけでなく、趣味の仲間募集やイベントの告知なども可能です。

「基山WEBの駅」は基山町ブランド化推進事業の一環として開設されたもの。会員同士の活発な交流を通して、さらなる地域活性化が期待されています。

### 新発見! きやまタウン 基山WEBの駅



<https://kiyama-web.jp/>



開会あいさつをする佐藤総務副大臣

# 世界にはばたく 総務省

Ministry of  
Internal Affairs and  
Communications

「サイバーセキュリティ国際シンポジウム  
～情報共有・国際連携のさらなる促進に向けて～」の開催

総務省は、高度化・複雑化が進むサイバー空間の脅威に対応するため、「IoTセキュリティ総合対策」の一環として、関係者間の情報共有や国際連携を強化するための取組を推進しています。本年2月25日、総務省は東京において、サイバーセキュリティに関する情報収集や、収集した情報の分析などを行う業界ごとの組織「ISAC」<sup>(注)</sup>の取組に関する情報共有や国際連携の促進を目的として、「一般社団法人ICT-ISA」との共催の下に、「サイバーセキュリティ国際シンポジウム」情報共有・国際連携のさらなる促進に向けて「」を開催しました。

開会あいさつでは、主催者を代表して佐藤総務副大臣が登壇し、サイバー攻撃への対応における官民での情報共有や国際連携が重要である旨に加え、このシンポジウムを通じてこうした活動のさらなる促進への期待について述べました。

日米の関係者を中心に約二百名が参加する中、このシンポジウムでは、総務省、米国土安全保障省、日米のISAC代表者らが、事業者間での情報共有の仕組みや先



パネルディスカッションの様子

進的取組事例などを紹介するとともに、より効率的な情報共有の在り方についてパネルディスカッションを実施しました。

2020年には東京オリンピック・パラリンピック大会を控え、今後サイバーセキュリティ対策は一層重要となります。総務省は引き続き、サイバーセキュリティに関する情報共有・国際連携を強化し、サイバーセキュリティの確保に努めて参ります。

(注) ISACは Information Sharing and Analysis Center 略

## 編集後記

editorial note

「アイが大きい」より「愛が深い」  
だ。取材帰路、車窓に流れる佐賀県基山町の「トカイナカ」な町並みを眺めながら、人口減少・少子高齢化と戦う同町の姿勢を私はそう振り返る。

一人暮らしの高齢者、産後うつや子育てに悩むシングルマザー、子どもたちなど、社会で孤立しやすい人々を助きたい―あふれる「親心」で語る松田町長が率いる町役場は、各種施策を通じて、町の住民にはもちろん、未来の町民になり得る可能性をも考えてのことか、近隣自治体の住民にも心理的・物理的な居場所を提供する。そうすることで、人々の活発な交流や支え合いをあくまで自発的に促進させようと巧みに仕掛ける。居場所を得た人々は皆、楽しんで生き生きとしていたのが印象的だ。

ここでは「一人」でいても「独り」になることはないかもしれない。便利な都会で自由気ままに暮らしながらも、希薄な人間関係の中で時折襲ってくる孤独感にさいなまれる私の目に、この町は魅力的に映った。

(広報室 荻野)

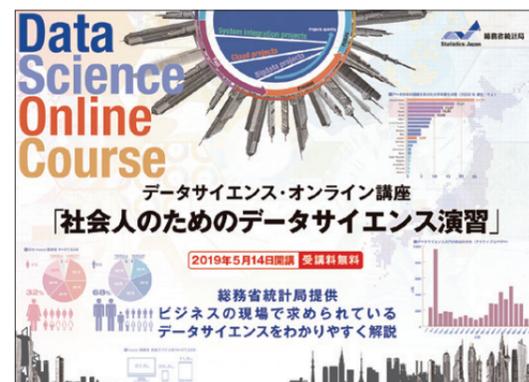
広報誌「総務省」についてのご意見・ご要望はFAXまたは、電子メールでお寄せください

FAX | 03-5253-5174 MAIL | kohoshi@soumu.go.jp

## 5月14日開講!

# 「社会人のためのデータサイエンス演習」

実践的なデータ分析の手法を学んでみませんか?



総務省は、ビジネス上での分析事例を中心に実践的なデータ分析統計分析の手法が学べるオンライン講座「社会人のためのデータサイエンス演習」を本年5月14日(火)に開講します。

この講座は、将来の経済成長を担う「データサイエンス」力の高い人材育成の取組として、総務省が平成27年3月に開講した「データサイエンス・オンライン講座」の一つです。

これまでに延べ2万8千人以上が受講するほど人気の高いこの講座は、どなたでも無料で受講できます。この機会に受講してみませんか?

(注) 本講座は、平成28年4月に実施した講座を再び開講するものです。

### ～「社会人のためのデータサイエンス演習」の内容～

- 第1週: データサイエンスとは**
  - 【主な講師】
    - ・(株)電通デジタルマーケティングセンター データマネジメント部部長 佐伯 諭氏
    - ・東京大学大学院 工学系研究科特任准教授 松尾 豊氏
  - 【主な内容】
    - データ分析に基づく問題解決プロセスを紹介
      - ・データサイエンスが必要とされる背景
      - ・データサイエンスの将来
      - ・PPDACサイクルに沿った問題解決の進め方
- 第2週: 分析の概念と事例**
  - 【主な講師】
    - 日本航空(株) Web販売部1to1 マーケティンググループ アシスタントマネジャー 渋谷 直正氏
  - 【主な内容】
    - 記述統計によるデータの把握と比較の方法に係る学習
      - ・Analysis(分析)とは
      - ・1変数の状況の把握(可視化の活用、代表値の活用)
      - ・ビジネスにおける比較(概要、適切なA/Bテストの活用)
- 第3週: 分析の具体的な手法**
  - 【主な講師】
    - (株)日立インフォメーションアカデミー ビジネス研修部技師 大黒 健一氏
  - 【主な内容】
    - 2変数の関係や時系列データの解釈に係る学習
      - ・クロス集計の軸設定と見方
      - ・散布図と相関の調べ方
      - ・時系列データの見方
- 第4週: ビジネスにおける予測と分析結果の報告**
  - 【主な講師】
    - (株)チェンジ 取締役 高橋 範光氏
  - 【主な内容】
    - 予測と評価や分析結果の報告と解釈に係る学習
      - ・回帰分析による予測
      - ・モデル評価と予実評価
      - ・分析結果の報告(記述/可視化方法、解釈の注意点)

- 第5週: ビジネスでデータサイエンスを実現するために**
  - 【主な講師】
    - 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構統計数理研究所 モデリング研究系教授 丸山 宏氏
  - 【主な内容】
    - ビジネスでデータサイエンスを実現するためのポイントに係る解説
      - ・データ分析に基づく問題解決ケーススタディ
      - ・様々な企業で活躍するデータサイエンティスト
      - ・企業でデータサイエンスを実現するためのポイント



データサイエンス・オンライン講座ページ  
(データサイエンスMOOC)  
<http://gacco.org/stat-japan2/>

\*各講師の肩書は、平成28年1月時点の情報です。

# ラジオは あなたとともに。

新しい朝に、フレッシュな出会いを。寂しい夜には、軽快なトークを。  
ドライブには、ミュージックを。災害時には、確かな情報と元気づける言葉を。  
ラジオは、あなたのそばにいます。

FMで伝えます。FMでも伝えます。

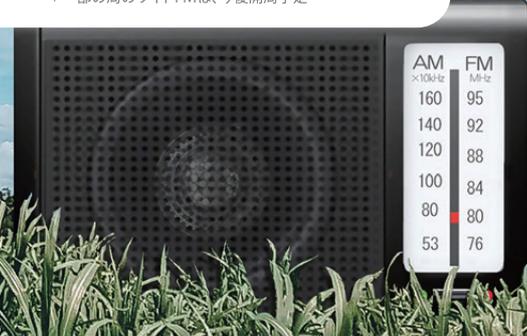
## FM局 全国53局

<b>AIR</b> 80.4 FM HOKKAIDO	northwave:80.5	<b>AFB</b>	エフエム岩手
<b>Date fm</b> 77.1	AFMエフエム秋田	<b>Rhythm Station</b>	ふくしまFM
<b>10 Love TOKYO FM</b>	<b>WAVE</b> 81.3FM	InterFM897	fmGunma
<b>RADIO BERRY</b> 76.4FM	<b>NACK5</b> 79.5FM	bayfm78	Fm yokohama 84.7
FM NIGATA 77.5	FM PORT 79.0	<b>F</b> FM FUJI	<b>K-mix</b> ALWAYS BE WITH YOU.
<b>FMとやま</b>	<b>HELLO FIVE</b> 77.5FM	<b>EVER GREEN STATION</b> FM NAGASAKI	<b>FM FUKUI</b>
<b>@FM</b> 80.7	<b>ZIP-FM 77.8</b>	<b>Radio NEO</b> 79.5	<b>FM Gifu</b>
<b>radio</b>	<b>e-radio</b>	<b>@Station</b>	<b>FM OH!</b> OH! My Music, OH! My Radio.
<b>F802 PARTY</b>	<b>FM COCOLO 76.5</b>	<b>Kiss FM KOBE</b>	<b>エフエム山陽</b>
<b>76.8</b> OKAYAMA FM	<b>HFM</b>	<b>Fm4</b>	<b>FM TOKUSHIMA</b>
<b>JOY-FM 香川</b>	<b>JOY-FM 78.7MHz</b> FM愛媛	<b>ISIX</b> FEEL THE RADIO	<b>FM FUKUOKA</b>
<b>CROSS FM</b>	<b>LOVE FM</b>	<b>fms</b> Friendly Radio of Fuge	<b>FM Nagasaki</b>
<b>FMK</b> エフエムクマモト	<b>FM RAINBOW 88</b>	<b>JOY FM</b>	<b>FM 高松</b>
<b>FM kinowa</b>			

## AM局(ワイドFM) 全国47局

<b>HBCラジオ</b>	<b>STVラジオ</b> AM1440 / FM90.4	<b>RABラジオ</b> 77.1FM / AM91.7... / FM92.7	<b>TBCラジオ</b> AM684 / FM90.6
<b>TBCラジオ</b> FM93.5 AM1260	<b>ABSラジオ</b>	<b>YBC RADIO</b> AM918 / FM92.4	<b>fmラジオ福島</b>
<b>TBSラジオ</b> FM90.5 + AM954	<b>文化放送</b> AM1134 / FM91.6	<b>ワイドFM93</b> ニッポン放送	<b>CRT 栃木放送</b>
<b>i-FM</b> FM90.9 / AM765	<b>ラジオ0本</b> AM1422 / FM92.4	<b>BSNラジオ</b> AM1116 / FM92.7	<b>SBCラジオ</b> 91.2 92.2 94.2
<b>YBSラジオ</b>	<b>SBS RADIO</b> AM1404 / FM93.9	<b>KNBラジオ</b> FM90.2	<b>MROラジオ</b>
<b>FBCラジオ</b>	<b>CBCラジオ</b> 93.2 FM AM 105.9	<b>東海ラジオ</b> AM1338 / FM92.8	<b>きふちゃん</b>
<b>KBS京都Radio</b> 94.9 114.3	<b>MBSラジオ</b> AM1179 / FM90.5	<b>ABCラジオ</b> AM1008 / FM93.3	<b>ラジオ大阪</b>
<b>ラジオ関西</b> AM558 FM91.1	<b>ワイド和歌山放送</b>	<b>BSSラジオ</b> 83.2 FM 87.1 鳥取 FM 92.2	<b>RSKラジオ</b> AM1494 / FM91.4
<b>RCC</b> RCC-FM194.6	<b>KRY山口放送</b>	<b>JST 四国放送</b>	<b>RNC 西日本放送</b>
<b>南海放送</b> AM1116 / FM91.7 91.2	<b>RKC高知放送</b>	<b>RKBラジオ</b>	<b>KBCラジオ</b>
<b>NBCラジオ</b> NAGASAKI 92.6 / SAGA 93.3	<b>RKK</b>	<b>OBSラジオ</b> FM93.3	<b>mrtラジオ</b>
<b>MBCラジオ</b>	<b>RBCラジオ</b> 1*AM 738 / FM 92.1	<b>ROK</b> FM81.1 / AM84	

ワイドFM全国拡大中  
ワイドFMとは、AM放送がFMで聴ける放送サービス  
\*一部の局のワイドFMは、今後開局予定



ワイドFM 総務省

検索

※総務省では民放ラジオの難聴解消を支援しています。

